

武蔵野市



必要? いらない?

全市議会議員へ

# 中学校給食アンケート

子育て中の親たちが結成した会です。  
ご賛同くださる方は、ご協力ください。

## 子どもの食環境を考える会

&lt;&lt;問い合わせ先&gt;&gt; 武蔵野市西久保 1-3-4 1F

TEL / FAX 0422-55-6257



『子どもの食環境を考える会』では、中学校給食の実施を求めて、昨年市議会へ陳情し、署名15,159筆を提出しました。この間、3回の文教委員会で「継続審議」となっています。長年、多くの市民要望があるにもかかわらず、なぜ中学校給食を実施しようとしなないのでしょうか？そこで、武蔵野市議会議員の方々の意思をお伺いするために、アンケートをとらせていただきました。その回答をご報告します。なお、個々に回答をお願いしましたが、会派として回答いただいた議員の方々は、欄をまとめさせていただきます。

市議会議員名 《所属》(敬称略50音順)	Q1 中学校給食は必要だと思いますか？ 必要・必要ではない	Q2 Q1の回答に対する理由をお聞かせください。(200字以内)
大野 まさき 《市民の党》	必要	少子高齢化が進む本市の子育て支援策として、中学校給食の実施が多くの方々から強く望まれていると、日々感じられるから。私も小2と保育園1才児クラスに通う子どもがいますが、様々な場面で要望されます。他市では行われていない事業だけを強調して「子育てするなら武蔵野市」などと市側はPRしていますが、他市にある中学校給食が検討すらされてこなかったことに大変不満を持っています。
小野 正二 《市議会公明党》	必要	公明党の推進により「健康増進法」が制定され、本市でもその取組みが進められている。「食育」「食環境の改善」に対する世論の意識も大きく変化している。今後、子ども達の食環境を見直し、学校教育における食育を明確に位置付け、各家庭にも食環境の改善・食文化向上の正しい情報発信ができる先駆的な選択方式による給食の実施が望まれるため。
梶 雅子 《日本共産党 武蔵野市議団》	必要	子どもの食の状況は、飽食の一方で、孤食や個食など食のゆがみと子どもの体はおかしくなっているといわれている。中学生の時期は、心身ともに発育・発達著しいことから、自己の健康を管理し改善していく資質や能力を育成することが大切。中学校給食はみんなで楽しく食事をすることで、望ましい食習慣の形成や、心身の健全な発達にどうしても必要である。
川名 ゆうじ 《民主・市民ネット》	必要	義務教育であり公教育の場ですから、学校給食法が求めているように実施するのが当然と考えます。食環境が乱れている昨今の状況を考えれば、栄養バランスや安全性に優れた給食を子どもに食べさせてあげたいとも思いますし食教育や社交性を高めるのに重要だと思います。また、昨今の家庭状況を考えれば、時間的な制約がかなりありますので、市民サービスとしても実施すべきです。
小林 清章 《市議会公明党》	必要 (選択制による)	我が党の推進により、健康増進法が制定され、本市でもその取組みが進められており、厚生省は「食を通じた子どもの健全育成のあり方に関する検討会」を立ち上げ、検討が進められている。今後は、子どもの食環境を見直し、学校教育の中に食の教育を明確に位置付け、家庭にもモデル発信できる、先駆的な選択方式による給食の実施が望まれる。(欠食対策の拡充を含む)
桜井 和実 《一人会派 (社民党系)》	必要	中学校時代は、子供から大人へと身体的にも変わる時期であり、栄養バランスのとれた食事が大事だと思います。私の子供が中学生時代に、1週間クラスのお弁当を調べてみましたが、冷凍食品がおかずの大半をしめていて家庭の食が乱れている様子がわかりました。子供達に旬を感じとらせたりとか、安全な食品を食べさせることが大人の責任だと思います。
《市議会市民クラブ》 山下 倫一(代表) 桑津 昇太郎 土屋 美恵子 寺山 光一郎 与座 武	(記載なし)	中学校給食問題は、永年市議会市民クラブとしましても重要な問題として議論を重ねてまいりました。貴会のアンケートにつきましては、会派意見として回答させていただきます。 中学校給食については、食の責任はだれが持つのか、仮に実施するとしましても市財政上の観点等、現在置かれた諸事情を考慮しまして、子どもは実施については大変難しいと受け止めております。ただ現実的には、なにかしらの事情で昼食を持参できない生徒の存在も確かであり、子どもは、その生徒に対する対応をしなければならぬと考え、会派においても議論を進めております。具体的には、先に文教委員会にて視察をいたしました八王子市や西東京市における弁当斡旋方式や、一部の中学校で実施されている調理パン斡旋も選択の一つと考えております。 今後この問題については、長期計画策定の中で、食のあり方の議論はもとより、市の長期財政等を考慮しながら結論を出したいと考えております。従いまして、今回ご質問を頂いたような“必要である”“必要ではない”というアンケートにはお答えいたしかねます。 貴会におきましても、今後とも“食の問題”に取り組んでいただきまして、大いに議論を深めていただければと存じます。
《自由民主クラブ》 井口 良美(代表) 石井 一徳 金子 武 きくち 太郎 近藤 和義 島崎 義司 鈴木 有臣 田中 節男 やすえ 清治	(記載なし)	中学校給食への会派の見解。 中学校については現在の家庭からの愛情弁当を基本としていることを私達は支持しています。ただし、現状として弁当をもってこられない子ども達がいることは以前から重く受け止めており、その対策については調理パンや業者による弁当の斡旋をシステム的に行なうよう議会で教育委員会等に求め、一部の学校では学校の協力で実現しています。未実施校については実施を目指して引続き学校の協力を得るよう教育委員会等に要求して参ります。

裏面も  
ご参照を

\* お名前に 印がある方は、  
陳情を審議している文教委

さて、議会はどう判断？ 次回審議は5月17日(月)午前10時からの  
文教委員会！ アンケートにご協力ありがとうございました。




必要? 足りない? 全市議会議員へ  
**中学校給食アンケート**

子育て中の親たちが結成した会です。  
 ご賛同くださる方は、ご協力ください。

## 子どもの食環境を考える会

<<問合わせ先>> 武蔵野市西久保 1-3-4 1  
 TEL / FAX 0422-55-6257



市議会議員名 《所属》(敬称略 50 音順)	Q1 中学校給食は必要だと思いますか? 必要・必要ではない	Q2 Q1 の回答に対する理由をお聞かせください。(200 字以内)
砂川 なおみ 《民主・市民ネット》	必要	今、中学生の食環境には多くの不安があります。学習指導要綱により食育の冊子が配布されており、給食をモデルとする説明も中学校版にあります。「食の理想モデル」を日々体験しつつ「健全な食を選ぶ能力を身につける成人病など様々な病気に対処する基本が食事だと自覚する」ことが大切です。このためにも、武蔵野市の小学校給食のような配慮された食事を食べさせてあげたい。中学校給食が成長過程の中学生の生活の基盤になると確信します。
田辺 あき子 《市議会公明党》	必要	毎朝 3 人の弁当を作っている中学生を持つ現役の母親として考えます。 1. 子供達の健康を重視! 最も成長著しい中学生の体が求める十分な栄養を満たすバランス食の必要性。 2. 子供達の食環境は危機状態! 大人社会が築いた今日の食文化は、早い、安いを主流に安全性や乱れた食文化により危機的状況にある。家庭は社会の縮図であり、社会のしわ寄せを子供達が背負っている。 3. 女性の人権尊重と子育て支援! 心のゆとりこそ子育ての原点、働く場の環境整備が必要。
露木 正司 《民主・市民ネット》	必要	端的に次の 3 つの理由からです。1. 1 万 5 千余名の署名が示すように市民の要望が強いこと。2. 小学校給食が子供たちにとって欠かせない生活のリズムになっている。中学校では小学校 6 年間のリズムを大切に、中学生に合った給食が求められている。3. 弁当は家庭で作るのが当たり前という考え方も一理あるが、一定の納税者である共稼ぎ家庭が多くなった昨今、事情があってどうしても弁当作りが困難な場合もある。
深沢 達也 《民主・市民ネット》	必要	親が子に弁当をつくることの意義はあると思う。一方、欠食対策もあり、現実的には「給食も選択できる方式」にすることが望ましいと判断するからです。
本間 まさよ 《日本共産党 武蔵野市議団》	必要	議会で中学校給食を実施すべきであるとした議会決議を提案した一人です。この間議会で何度も実施を求める質問をしてまいりました。安全で寒いときにも暖かい食事はお弁当ではできません。給食の役割は重要です。給食の実施は食の安全や地場産業(農業)の教育にもかかせません。選択もできる給食の実施を何としても武蔵野市でみなさんと力を合わせて実現したいと思います。
松本 清治 《民主・市民ネット》	必要	1. 望ましい食習慣の育成、食環境の構築。 2. 食事を通して好ましい人間関係や明るい社交性の育成。 3. 親子の絆と給食が決定的な反作用を起こすわけではない。 4. ひとり親、共働き世帯など弁当を作る時間を持ちにくい家庭の増。 5. 選択制が望ましい。アレルギーなど食事制限が必要な家庭もあれば、愛情弁当による家庭教育を頑張っている世帯もあるでしょう。 6. ただし、子どもの主体的な意志を最優先に政策決定すべきです。
水野 学 《民主・市民ネット》	必要	この半年に渉る文教委員会での審議のやり取りや、都下の各市における中学校給食の実施状況、武蔵野市周辺各市・区での中学校給食の実態視察等を踏まえて考えると、現時点では市として中学校給食の導入に踏み切る時期にきていると考えます。ただし導入に際しては、自校方式、センター方式、親子方式、民間委託方式等いずれのやり方が良いのか、またコスト面での吟味された検討など、中学校給食を取り巻く諸課題をクリアにするため、真の意味での市民参加による検討委員会(導入を前提として)の設置が必要、不可欠だと思います。
三宅 英子 《一人会派》	必要	約 17 年前の自分の経験でも、働きながら毎日お弁当を作るのはとても大変でした。その時よりも女性の社会進出はもっと進んでいる今、「中学校給食」を行政側がサポートすることは必要だと思います。
向谷 千鳥 《日本共産党 武蔵野市議団》	必要	学校給食は心身の発達が著しい中学生の時期に食を通じて自己の健康管理や望ましい食習慣について学ぶ、生きた教材としてこれほどふさわしいものはありません。 また、共働き世帯が増える中、中学校給食の実現は父母の切実な願いとなっています。献立から食材調達、衛生管理などにおいて「学校給食法」に基づく実施が求められています。
山本 ひとみ 《市民の党》	必要	子育て支援の充実のため、中学二年の子供をもつ親として子供たちの成長と健康のため、お弁当も選べる形での温く栄養バランスのとれた中学校給食実施は必要と考えています。食の安全をめぐる様々な問題、共稼ぎ家庭・一人親世帯の増加等社会環境も変化しつつあり、重要性は高まっています。また、市内小中学校の児童生徒数も減少しており、給食調理場の供給余力もあることを考慮し方法等を工夫すれば経費削減も可能です。

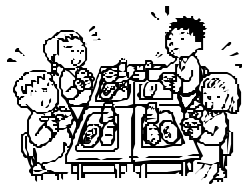
### ひと口メモ

#### 欠食対策

生徒が家庭の事情等でお弁当を持って来られない場合(昼食が欠ける)に、パン販売や業者の弁当を斡旋すること。現在、五中ではパン販売、一中では業者弁当(おにぎりとかから揚げ/サンドイッチの2種類)を導入しています。四中でも試行。これは、中学校長の判断で、実施することができます。

#### 長期計画

現在、第四期基本構想・長期計画(平成 17 年度~10 年間の市政計画)が策定委員会のメンバーによって検討されています。ちなみに、本年 4 月に出された「討議要綱」には、中学校給食については一言も触れられておりません。よって、考える会では、選択制の中学校給食を実現するよう意見書を提出しています。詳しくはホームページをご覧ください。



議会の賛否は

次の**文教委員会**で決まる!?

2004 年 5 月 17 日(月) 10 時 ~ 市役所 7 階第一委員会室

裏面も  
ご参照を